



リスク物質管理・グリーン物流

PRTR法 対象物質使用状況

リスク物質(人体や生態系に悪影響を及ぼす可能性のある物質)の使用削減を目的として、PRTR法*で対象となっている化学物質の取扱量削減に取り組んでいます。THKで対象となるPRTR法対象物質は、ガソリンや重油等の燃料に含まれる物質が主ですが、取扱量を毎年3%ずつ削減することを目標としています。2018年は空調熱源設備の更新により重油使用量を減らすことができ、取扱量は73,017kgから62,608kgと前年比10,409kg(約14%)の減少となりました。

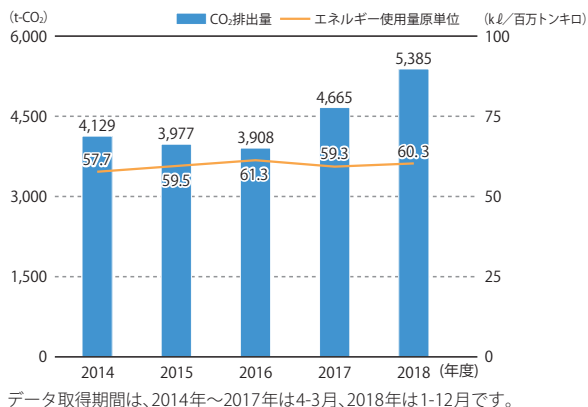
* PRTR法：特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律

項目	取扱量	大気への排出量
キシレン	2,563	229
トルエン	4,741	1,930
エチルベンゼン	742	74
ベンゼン	193	8
メチルナフタレン	48,566	112
その他	5,803	—
合計	62,608	2,353

輸送におけるCO₂削減状況

製品・部品の輸送におけるCO₂排出量は、前年の4,665t-CO₂から5,385t-CO₂と720t-CO₂(約15%)の増加となりました。エネルギー使用量原単位(エネルギー使用量/輸送トンキロ)は生産量増に伴い、またトラックでの輸送比率が高まったため、前年度の59.3から60.3と約1.7%増加しました。

輸送におけるCO₂排出量、エネルギー使用量原単位



データ取得期間は、2014年～2017年は4-3月、2018年は1-12月です。

洗浄溶液の切り替え

岐阜工場では、自動車部品として使用されるLMガイドの鋼球ボールを洗浄する際に使っていた洗浄溶剤をPRTR物質非含有溶剤に変更し、PRTR対象物質の使用量を約49.5kg/年削減しました。

廃棄物処理の運搬回数の削減

TRAチェコ工場は、廃棄物処理の運搬回数を削減するため、廃棄物を粉砕する装置を導入して物量体積を小さくしました。その結果、処分場まで運搬していた回数を週2回から月1回とし、運搬時の距離換算で約6,000km/年、それに伴う燃料の消費量は約240,000ℓ/年削減することができました。

コンテナ輸送の効率化

THK中国では、物流における環境負荷低減を目指す活動として、輸送トラックの集約化、輸送効率の向上に取り組みました。日本から毎週輸入している中国のお客様向け製品の船便貨物は、中国の大連港で荷役作業をしています。従来、港に陸揚げされたコンテナは、陸送用トラックに貨物が積み替えられ商品センターへ配送していました。2018年6月からは、港に陸揚げしたコンテナ自体をトラックの荷台に積載して商品センターへ輸送する方法に切り替えました。改善効果としてはトラックの台数が月平均15.2台から4.9台に集約化され、CO₂排出量は約32%/年削減することができました。今後も効率的な輸送を目指して活動を推進していきます。



商品センターに到着したコンテナを積載したトラック